

Healingsと私

－暖かさ－

話し合結果まで

グループ（J） 金 素希（キム・ソヒ）

1. Healingsの紹介

私に大切なコミュニティは色々あります。しかし、その中で一番大切なコミュニティは私の韓国の大学同士たちが属しているコミュニティです。このコミュニティの名前はhealingsです。私と大学同士4人が入っています。韓国としては、20歳に大学1年生になります。高校生の暮らしから卒業して、始まる20代と大学生ということは誰も期待になると思います。それで、その気持ちで大学に入学してつくるようになったこの4人の同士は私に大切だと言えます。

今から、このコミュニティの構成員を紹介します。このコミュニティには私と同じとしの二人（キム・ミンソン、ジョン・ソンイ）と年上のおねえさん二人（ソン・ソジョン、チェ・ヘオン）が属しています。みんなハンバット大学日本語科の5人の学生です。私たちは最初から5人ではい wasn't でした。元々は、3人と2人でしたが、どんどん親しくなって今の5人のコミュニティになりました。それでいつもみんな隣の席に座って授業を取ったり、休み時間には話したりします。もちろん、コミュニティの名前も初めて決めたことではありません。時間が過ぎしながら、私たちの友情も段々深くなりました。自分の悩みとかも打ち明けになって、お互いにアドバイスもできていろいろで未来のやる気も得られました。つまり、お互いが友達だというだけで力になると感じて英語単語のhealingを元で、Healingsという名前を付しました。

2. 取材散歩に行ってみて

11月7日にはひどい雨が降りました。そのせいで、外の活動は大変だったけど、もともとの予定を進むために、頑張りました。この日の予定は、角田侑紀さんの楽団の練習室の訪問でした。練習室は学校の正門をでて、体育館の横にあるところでした。私も音楽にきょうみがあるので、なんか音楽練習室の訪問は期待になりました。練習室には、侑紀さんの合奏団以外の音楽部も一緒に使っているところでした。壁には、楽団の写真が何枚貼っていました。また、練習室には、ドラムなどいろいろな楽器がありました。それで、私も楽器を学びたくなりました。また、侑紀さんの話し相手も合奏団の写真で見られました。直接会ったことはないけど、侑紀さんの話を聞いて、いい人だと思いました。練習室の訪問後、うちの四人は学校食堂に移動しました。悪い天気、順調な感じではなかったけど、ソファに座ってちょっと休みながら、ゆっくり話しました。食堂では私のコミュニティの紹介をしました。わたしのコミュニティは携帯のbandというアプリを利用しています。このアプリでHealingsメンバーたちの誕生日、メモ、写真アップロードとか、専用チャットルームを使っています。それで、ここにアップロードしたメンバーたちがいる写真を見せてあげました。私の紹介が終わったすぐに全秀蓮さんのコミュニティの話をしました。全さんも携帯にある写真を見せてくれました。全さんの話し相手と中国の大学での思

い出がある写真も見になりました。11月14日は先週のように悪い天気ではなくて良かったです。この日は、学校食堂に行って佐藤千浩さんのコミュニティの紹介をもらいました。見せてくれた写真で女子サッカー部の写真が一番記憶に残れました。みんな元気な人たちに見えたり、がっこう良かったです。お話を終わってから記念写真を撮って解散しました。

3. 話し合いの相手

この healingsの中で私はソンソンジョンさんを話し合い相手を選びました。私より2歳上の人で、初めの3人の中でその一人です。この人を選んだ理由はお姉さんとして、色々と私の頼れる人です。また、いつも自分のことを真面目にやり、家族を愛する心が暖かいです。何よりも、弟さんのことの思いが深く、弟がいる私は反省することになります。それで、見習える人だと思います。ソンさんとのインタビューでHealingsのことをどう思っているか聞いてみました。ソンさんもHealingsは大切なコミュニティで私のHealingsについての意見と共感できると言いました。

ソンさんは思い出の一つで、私が日本に留学来る前に最後の集いを挙げました。その時、私たちは美味しい物もたべながら、その時流行っていた短い手紙も書いて取り交わしました。ソンさんは誰かに手紙をもらったこともひさしぶりだしチャットより人の気持ちがあっと感じられて嬉しかった。それで懐かしいなと思われて良い思い出だったと言いました。

4. 話し合い結果

ソンさんにこれからHealingsで何をしていきたいかを聞きました。ソンさんはうちはそろそろ4年生になって卒業の将来をかんがえなければいけない時なので、自分の将来を共有と共にアドバイスを受け取ることもできると良いだろうと言いました。

ソンさんの意見は本当に良いと思いました。就職活動で忙しくなるし、不安な気持ちを一緒に心配してくれるひとがいれば、すごくうれしいだろうと思います。私の願いは卒業後にも Healingsが進めることです。いまはせめて学校で毎日あえるけど、みんな卒業すれば、仕事でばらばらになるから会える機会が減りそうです。もちろんsnsで話せるけど、直接会うこととは違うと思います。このことからみんな忙しいところでも、Healingsを忘れなくてほしいです。

5. Healingsと私

韓国では人生で一番最高の友達は中高生の時の友達だという言葉があります。もちろん大学の友達もいいが、この時は、みんな就職活動もかかっているし、心からの友達の関係より、自分の利益によって友達の関係を進める人たちもけっこういるので、真剣な人を会えにくいというわけです。それで、大学に入学する時、良い友達に会えるかどうかは一年生の心配でした。しかし、全然思いかけなかった良い友達とあえて私は本当に運が良い人だと思います。そのためにHealingsは私にとって大切なコミュニティです。先、言った通り私はうちが卒業の後にも会いながら、今の良い関係が続いてほしいです。いつも連絡もよくして、旅行も行ったり新しく経験できることも探したりなど楽しい思い出を作れるといいだろうと思います。特に、私たちはみんな日本語科の学生だから、一緒に秋田などの日本旅行もすれば、楽しそうです。また、卒業後に社会人になった私たちは最初の姿と、変

変わったところも多くあるし、その中でもっと発展されたところもだんだん生じると思われるので時間が過ぎしながら変わったお互いのことについてもいつか話してほしいです。Healingsメンバー同士みんなも私と同じ考えを持っていると思いますのでこれからも面白い思い出を作れると思います。

6. 「コミュニティ」、「コミュニケーション」とは何か

コミュニティというのは人間が自分の存在を分かれるようにすることだと思います。人間は一人で生きられないのでみんなコミュニティを作って生きています。よって、多くのコミュニティが形成されています。なお、自分が入っているコミュニティの構成員との疎通、つまりコミュニケーションで社会性を延びれるし、あの人についての心も深くなるので、人を大切に考える心を持つようになると思います。

7. クラスについての感想

グループメンバーのコミュニティの話を知ったり、よんだりしながらやっぱり、世の中にはいろんなコミュニティがあると思いました。また、コミュニティは違うが、人の生きている姿なのでなんか似ているところもありそうでした。それで、私のコミュニティではなくても親近感も感じられました。今まで、コミュニティについてちゃんと考えてみたことはなかったので、私の人生も振り返られた良い時間でした。